

千葉

ハラール認証商品PR

県内12業者 展示会に出品

徳島県ブースで牛肉を試食するイスラム教徒ら。千葉市の幕張メッセ（具提供）



イスラム教の戒律に沿ったハラール商品の総合展示会「ジャパン・ハラール・エキスポ2015」（実行委主催）が25、26両日、千葉市

の幕張メッセであり、徳島県内の12事業者がハラール認証を取得した商品やサービスをPRした。フジミツハセガワ

（徳島市）の牛肉、かねこみそ（藍住町）の無添加みそ、カタオカ（つるぎ町）のこんにゃくなど40品目が展示された。那賀町の牧場で飼育されたシカの肉も並べられ、県によると、ムスリム（イスラム教徒）らから「臭みがなく、柔らかくておいしい」と好評を得た。

25日にはマレーシアなどハラール関係国の大使らが参加したレセプションがあり、熊谷幸三副知事がシカ肉を使ったジビエ料理などをPRした。（笠井秀彰）